

「成人識別たばこ自動販売機システム(taspo)」の今後の運営について

「成人識別たばこ自動販売機システム(以下、taspo)」の今後の運営につきましては、2021年10月8日に对外発表いたしました。改めて下記のとおりご案内させていただきます。

taspo 事業の運営主体変更後においても引き続き、一般社団法人日本たばこ協会(以下、TIOJ)と全国たばこ販売協同組合連合会(以下、全協)は、たばこ業界全体の社会的責任として、20歳未満喫煙防止への取組みを徹底してまいります。どうぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 運営主体の変更

20歳未満喫煙防止対策の一環として2008年に導入したtaspo事業の運営は、これまで、たばこ業界の社会的責任として、主要たばこメーカーを正会員とするTIOJが運営主体となり、業界関係団体の協力の下、20歳未満の喫煙防止に効果を上げ、多くの皆様より高い評価をいただけてきました。

しかしながら、お客様の購買行動の変容を受けたTIOJ会員社の販売チャネル戦略上のたばこ自動販売機の位置付けの変化、たばこ自動販売機を利用するお客様及びtaspoを導入されているたばこ販売店の皆様への影響緩和等を鑑み、taspo事業をTIOJからたばこ自動販売機を所有するたばこ販売店の皆様が多く加盟する全協に事業譲渡し、事業譲渡日の2023年4月1日からtaspo終了の2026年3月31日までの3年間、taspo事業を全協が運営することといたしました。

事業譲渡に伴う運営主体の変更に伴い、taspoカードご利用のお客様、taspo導入店の皆様からのお手続きは一切不要となります。また、taspoカードの発行、taspoの導入、たばこ自動販売機の移設・撤去等に関する各種申請方法やtaspoに関するお問い合わせ先(taspoダイヤル)につきましても、変更はございません。

2. 通信回線(FOMA)終了に伴うtaspoのサービス終了

この度、taspoで使用している通信回線が2026年3月31日を以てサービス終了することとなり、今後の対応について様々な検討を行ってまいりました。しかしながら、成人識別の厳格性担保を前提とした現行taspoを継続することは困難であるとの判断に至ったことから、通信回線のサービス終了時期である2026年3月31日を以て、taspoを終了することといたしました。

なお、taspoカード並びにtaspoを装備したたばこ自動販売機は、2026年3月31日のtaspo終了までの間、今まで通りご利用いただけますが、2026年4月以降はtaspoカードが使用できなくなります。taspo終了以降も自動販売機でたばこ販売を行う場合には、たばこ小売販売業の許可条件に記載の通り、財務省が認定するtaspo以外の成人識別装置を取り付けたたばこ自動販売機にて販売を行う必要がございます。

《本件に関するお問い合わせ先(taspoダイヤル)》

[固定電話から] 0120-222-180 (フリーダイヤル)

[携帯電話・スマートフォンから] 0570-012-340 (有料)

[IP電話等から] 011-330-3201 (有料)

受付時間:9:00~17:00(土日祝日・年末年始除く)